

トルコギキョウの省力的な短日処理技術

福島県農業試験場 会津地域研究支場

平成12～14年度福島県農業試験場成績概要

分類コード 05-19-16000000

部門名 花き—トルコギキョウ—生育調節

担当者 小林祐一・江川孝二・菅野 清

I 新技術の解説

1 要旨

トルコギキョウの短日処理は秋出しの品質向上には有効な技術であるが、現在効果が高いとされている処理期間は定植前後30日間(延べ60日間)と長い。そこで、遮光資材の開閉期間を大きく短縮でき、切り花品質への影響が少ない、定植後30日間の処理技術を確立した。

- (1) 早生種、中生種、晩生種ともに定植後30日間の短日処理で、収穫が遅延するとともに、切り花長が長くなり、切り花重も重くなった。
- (2) 収穫期は、定植後30日間処理したものが定植前後30日間処理したものに比べ、3～9日早まった。
- (3) 切り花品質は、定植後30日間処理したものが定植前後30日間処理したものに比べ、切り花重が重く、花蕾数の多い傾向にあった。切り花長は、一定の傾向が認められなかったが、定植後30日間処理したものが定植前後30日間処理したものに比べ、極端に短くなることはなかった。
- (4) 上位規格品は、定植後30日間処理したものが定植前後30日間処理したものに比べ、同等から多くなる傾向にあった。

2 期待される効果

遮光資材の開閉期間が短縮でき、省力化できる。

3 適用範囲

県内全域。ただし、施設栽培とする。

4 普及上の留意点

- (1) 短日処理効果は生育ステージに影響されるため、適期定植に努め、定植後は速やかに処理を開始する。
- (2) 短日処理の日長は9時間とする。

II 具体的データ等

表1 トルコギキョウの短日処理期間の違いが収穫期や切花品質に及ぼす影響(2000～2001)

品 種	短日処理期間	平均収穫日	収穫遅延日数	切り花長	切り花重	節数	側枝数	花蕾数
		(月日)	(月日)	(cm)	(g)	(節)	(本)	(輪)
はまの雪 (早生)	無処理	9. 8		55.6	43.5	6.5	4.2	11.6
	定植後30日間	9.30	12	69.9	59.5	10.5	4.1	12.7
	定植後40日間	10. 6	37	69.5	59.2	12.4	3.7	12.1
あすかの姫 (中生)	無処理	9.27		54.0	34.5	7.4	2.3	8.5
	定植後30日間	10.24	27	80.2	75.2	10.4	2.5	9.5
	定植後40日間	11. 7	41	82.2	80.7	12.9	2.7	10.4
つくしの雪 (晩生)	無処理	10.10		55.5	43.3	7.9	2.0	8.7
	定植後30日間	10.27	17	70.4	99.0	10.8	2.9	9.8
	定植後40日間	11.14	35	74.2	103.1	12.4	2.8	10.9

注、はまの雪は2000年、あすかの姫、つくしの雪は2001年の値

表2 トルコギキョウの短日処理期間の違いが収穫期や切花品質に及ぼす影響(2002)

品 種	短日処理期間	平均収穫日	切り花長	切り花重	節数	側枝数	花蕾数
		(月日)	(cm)	(g)	(節)	(本)	(輪)
アリスピンク (中生)	定植前後30日間	10. 5	82.5	52.9	9.2	3.4	10.9
	定植後30日間	9.26	81.4	61.6	9.8	3.5	14.3
キュートエロー (中生)	定植前後30日間	10.11	79.3	75.9	10.0	2.9	10.1
	定植後30日間	10. 8	86.6	78.6	10.1	2.7	10.4
つくしの羽衣 (晩生)	定植前後30日間	10.15	82.7	87.5	11.7	3.1	10.9
	定植後30日間	10.10	81.3	99.1	12.1	3.6	12.0

表3 トルコギキョウの短日処理期間の違いが出荷規格に及ぼす影響(2002)

品 種	短日処理期間	出荷規格別割合%				収穫株率
		2L	L	M	計	(%)
アリスピンク (中生)	定植前後30日間	50	40	3	93	93
	定植後30日間	63	31	3	97	97
キュートエロー (中生)	定植前後30日間	35	22	6	63	63
	定植後30日間	58	13		71	71
つくしの羽衣 (晩生)	定植前後30日間	71	26		97	97
	定植後30日間	68	29		97	97

注、収穫株率は定植株数に対する割合

Ⅲ その他

1 執筆者

小林祐一・草野秀一

2 主な参考文献・資料

なし